

# 2014年3月期 第2四半期 決算説明会

2013年10月28日



# 2014年3月期 第2四半期 業績概要

## 2Q(累)連結業績のポイント(1)

- 景気動向

- (世界経済)

- 欧州は下げ止まり、米国は住宅・個人消費の改善により回復。

- 中国は緩やかな成長維持。

- (国内経済)

- 住宅、個人消費、雇用改善で回復進む。

- FPD業界

- ・テレビ市場頭打ち

- ・パネルメーカー：高稼働維持 → パネル在庫余剰  
→ 2Q後半、一部で調整の動き

## 2Q(累)連結業績のポイント(2)

売上高	1,262億円	(前年同期比17%減)
営業利益	104億円	( // 38%減)
四半期純利益	60億円	( // 31%増)
総資産	7,040億円	(前期末比66億円増)
純資産	5,062億円	( // 110億円増)
自己資本比率	71%	( // 1ポイント上昇)

## 2Q(累)連結業績の概要

(億円)

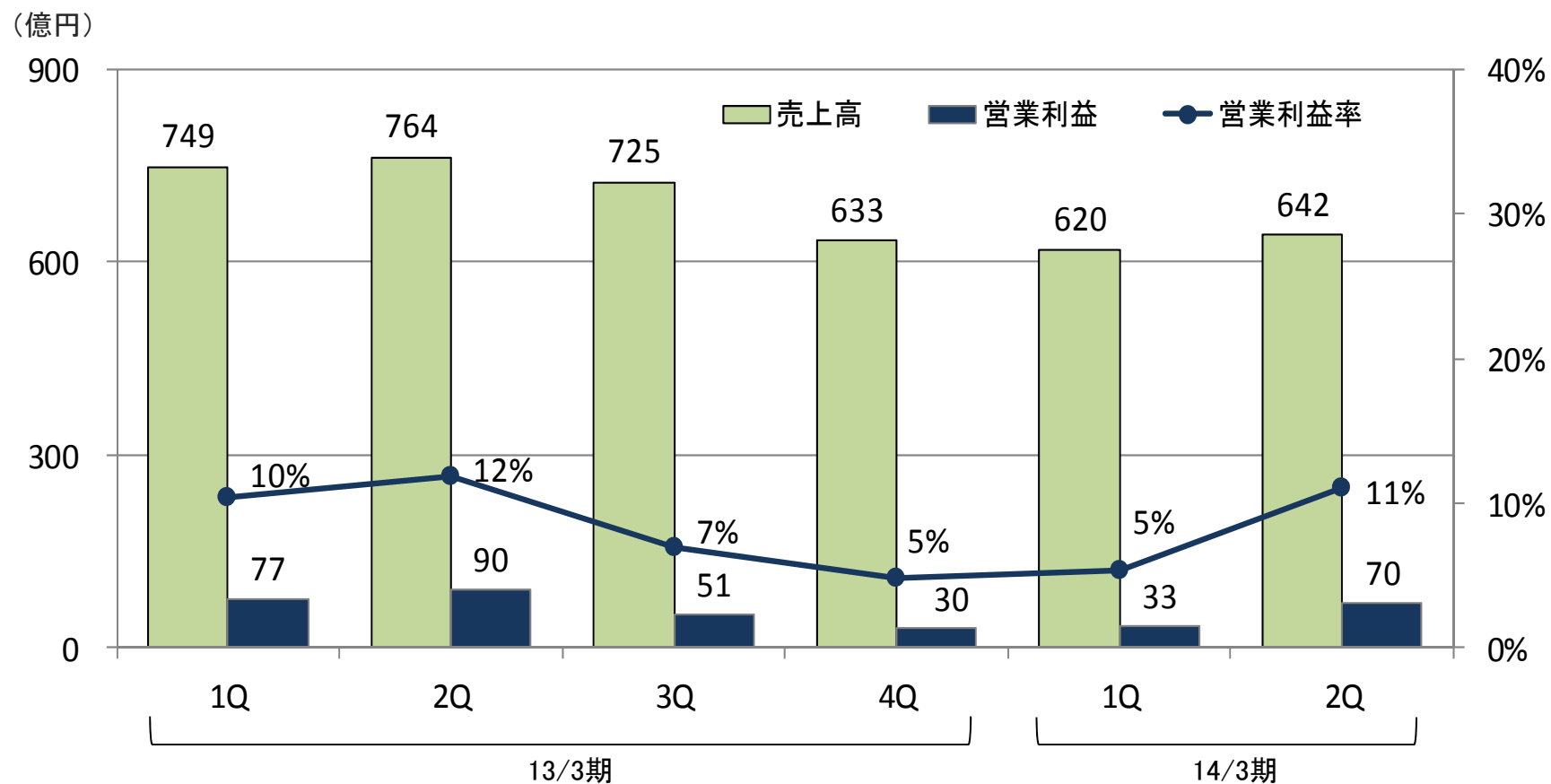
	13/3期 2Q(累)	14/3期 2Q(累)	増減
売上高	1,513	1,262	△17%
営業利益 (利益率)	167 (11%)	104 (8%)	△38%
経常利益	149	97	△34%
特別損益	△43	△4	
税前利益	105	93	△12%
四半期純利益	46	60	31%

(事業分野別売上高)

(億円)

		13/3期 2Q(累)	14/3期 2Q(累)	増減
ガラス 事業	電子・情報用	1,201	923	△23%
	その他用	311	339	9%
合計		1,513	1,262	△17%

# 四半期業績の推移



# 事業分野別の状況

## ■ 電子・情報用ガラス

液晶：

- 1Q回復、2Q後半に減速
- 生産性が向上

PDP：

- 市場縮小

光・電子デバイス：

- デジタル一眼カメラ向け増加
- 汎用電子部品向け堅調
- 通信インフラ向け：長距離系堅調、FTTH系鈍化

ソーラー：

- 国内の電力固定価格買取制度により好調

化学強化専用ガラス：

- 販売の立ち上げ
- スマートフォン市場の変化

## ■ その他用ガラス

ガラスファイバ:

- 自動車市場の回復、  
低燃費車・HV車の拡大
- 生産性が向上
- セメント強化用(ARG)の拡大

建築・耐熱・その他:

- 建築・耐熱・・・回復基調
- 医薬管・・・堅調



# 連結貸借対照表

(億円)

	13/3末	13/9末	増減
<b>流動資産</b>	2,435	2,402	△33
現金・預金	1,294	1,215	△78
受取手形・売掛金	458	454	△3
たな卸資産	552	597	44
その他	130	134	3
<b>固定資産</b>	4,538	4,637	99
有形固定資産	3,953	4,007	53
無形固定資産	20	22	1
投資その他	563	607	44
<b>合計</b>	6,973	7,040	66

## ■流動資産

現金・預金： 設備代金等の支払

たな卸資産： 在庫増

## ■固定資産

有形固定資産： 電気硝子(Korea)関係増

投資その他： 株式評価↑

	13/3末	13/9末	増減
<b>負債</b>	2,020	1,977	△43
支払手形・買掛金	358	293	△64
借入金・社債	1,026	1,009	△16
未払法人税等	14	34	19
特別修繕引当金	350	380	30
その他	272	259	△12
<b>純資産</b>	4,952	5,062	110
株主資本	4,846	4,866	20
その他の包括利益累計額	42	123	81
少数株主持分	63	72	8
<b>合計</b>	6,973	7,040	66

## ■負債

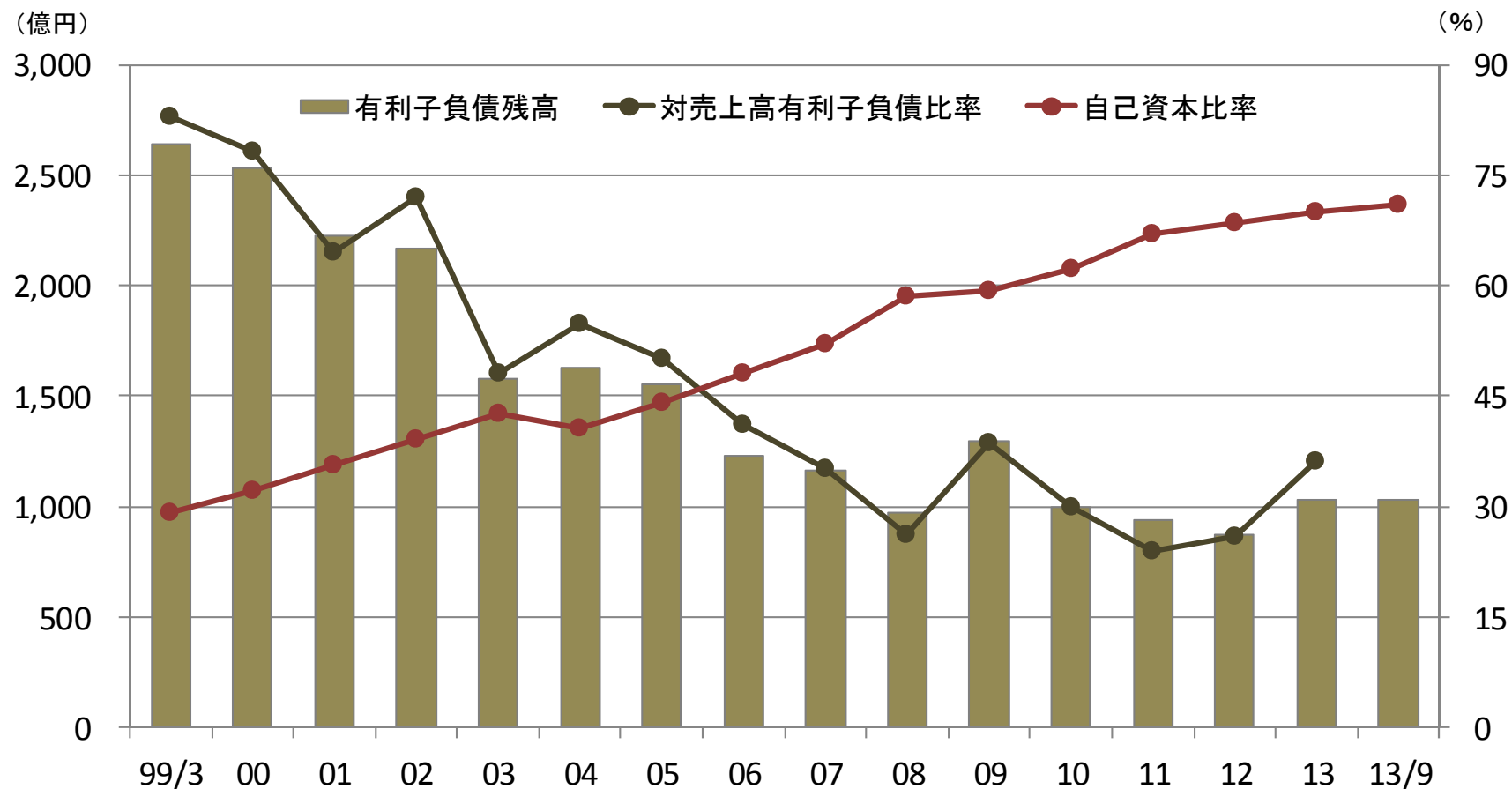
支払手形・買掛金： 稼働減

## ■純資産

その他の包括利益累計額： 株式評価↑、為調↑

# 有利子負債と自己資本比率の推移

有利子負債	1,009億円(13/3末比△16億円)
自己資本比率	71%(同+1ポイント)



※対売上高有利子負債比率=連結有利子負債÷連結売上高×100

# 連結キャッシュ・フロー計算書

	13/3期 2Q(累)	14/3期 2Q(累)	増減
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	265	173	△91
税金等調整前当期純利益	105	93	△12
減価償却費	224	167	△56
売上債権の増減額(△は増加)	△68	9	78
たな卸資産の増減額(△は増加)	37	△44	△81
仕入債務の増減額(△は減少)	△92	△90	1
その他	60	39	△21
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	△243	△202	41
固定資産の取得による支出	△221	△198	22
その他	△22	△3	18
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	△60	△56	3
借入金・社債の増減額(△は減少)	△19	△16	3
配当金の支払額	△39	△39	△0
その他	△0	△0	0
現金等に係る換算差額	0	3	2
現金等の増減額(△は減少)	△37	△81	△44
現金等の期末残高	1,014	1,135	121

(億円)

(営業CF)

- 減価償却費: 設備投資減
- 売上債権: 販売減
- たな卸資産: 在庫増

(投資CF)

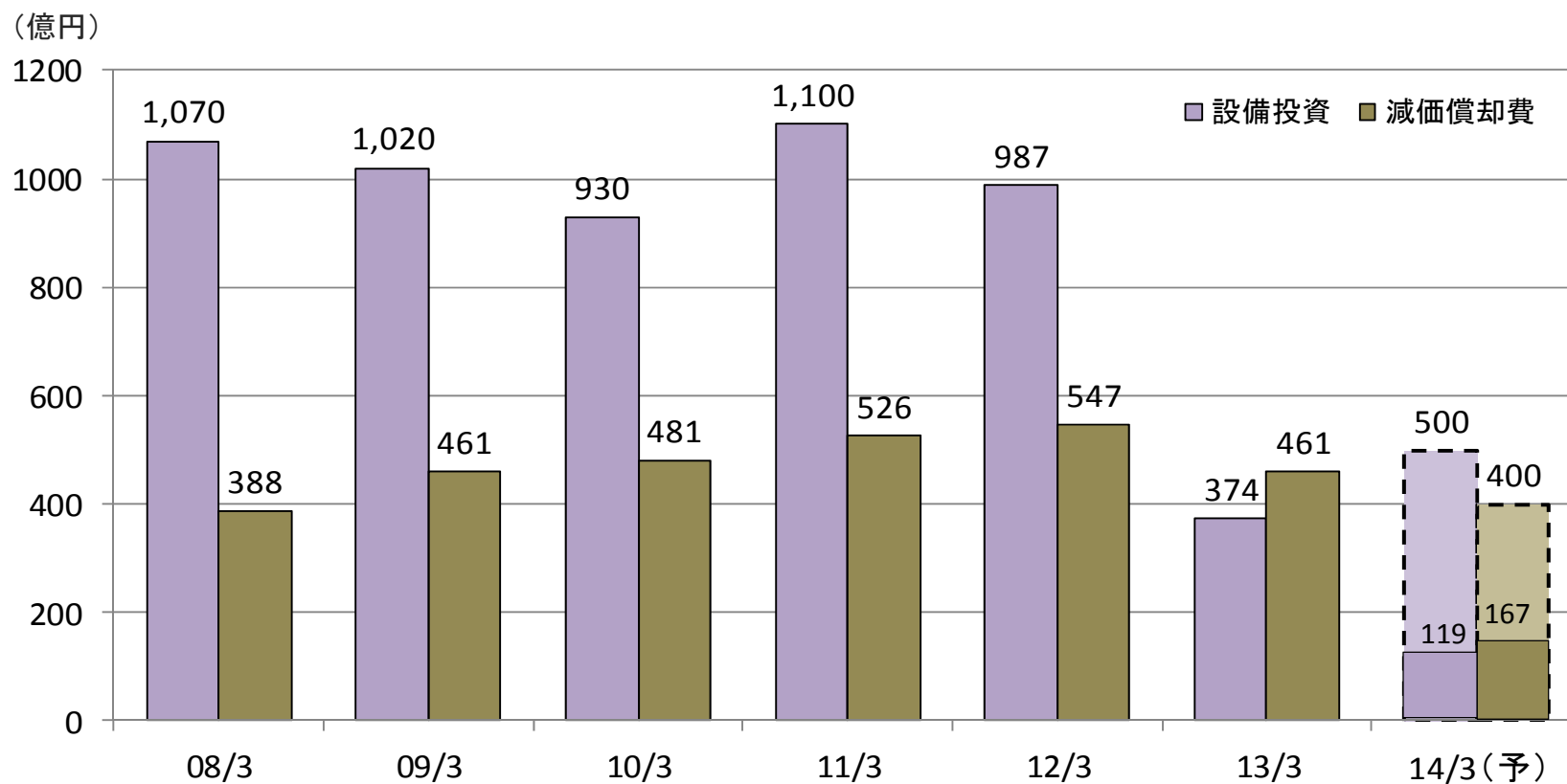
- 固定資産:  
主に電気硝子(Korea)の  
設備取得

(財務CF)

- 配当金: 1Qに期末配当実施

# 設備投資・減価償却費

設備投資	下期、電気硝子(Korea)の設備投資を計上。(期初見通しから変更なし)
減価償却費	下期にかけて増加。(期初見通しから変更なし)



# 2014年3月期 業績予想

# 連結業績予想

(3Q累計)

(億円)

	13/3期3Q累(実績)	14/3期3Q累(今回予想)
売上高	2,239	1,880 ~ 1,930
営業利益 (利益率)	219 (10%)	160 ~ 180 (※9%)
経常利益	191	140 ~ 160
純利益	72	90 ~ 100

(通期)

(億円)

	13/3期(実績)	14/3期(4/26予想)	14/3期(今回予想)
売上高	2,873	2,700 ~ 2,900	2,550 ~ 2,650
営業利益 (利益率)	249 (9%)	150 ~ 210 (※6%)	190 ~ 220 (※8%)
経常利益	227	130 ~ 190	160 ~ 190
純利益	106	80 ~ 120	100 ~ 130

※各レンジのセンター値により計算

# 2014年3月期 下期の前提・課題

## 概況

- 米国、中国・・・緩やかな回復
- 欧州・・・持ち直しに向かう
- 日本・・・緩やかな回復、消費税増税前の駆け込み需要

## 費用

- 電気硝子 (Korea) 稼働に伴う減価償却費、立ち上げコスト
- 原燃料価格上昇の影響 (円安、電力価格の値上げ)

## 為替

- 想定レート: 1ドル = 100円、1ユーロ = 130円

## ディスプレイ

液晶・・・出荷は、横ばいから小幅な伸びで推移

化学強化専用ガラス・・・出荷の拡大

〔課題〕

- 販売
  - 一層の販売強化
- 生産・開発
  - 電気硝子(Korea)フル稼働～償却負担の吸収
  - 高精細ディスプレイへの対応
- 海外展開
  - 電気硝子(Korea)第2期(14年夏稼働)
  - 電気硝子(広州)(14年春稼働)
- 化学強化専用ガラス
  - 今年度中に、単月で2桁%シェア(目標)
  - 更に高機能なガラスの開発



# 2014年3月期 下期の前提・課題

## 光・電子デバイス

3Qは季節変動の影響。4Qに回復

[課題]

- 新製品の拡販・・・蛍光体ガラス<ルミファス>(自動車・医療分野向け)、IR吸収ガラス、ガラスリボン、など

## ソーラー

電力固定価格買取制度の恩恵続く。高水準の出荷持続

[課題]

- 新規顧客の開拓(化合物系薄膜太陽電池向け)
- 生産効率の向上～損益改善

## ガラスファイバ

堅調を継続

[課題]

- 高機能樹脂用・・・需要の拡大に対応。顧客満足の上  
→ トップシェアを維持
- セメント強化用・・・需要の拡大に対応

# 2014年3月期 下期の前提・課題

建築・耐熱・医療

緩やかな回復

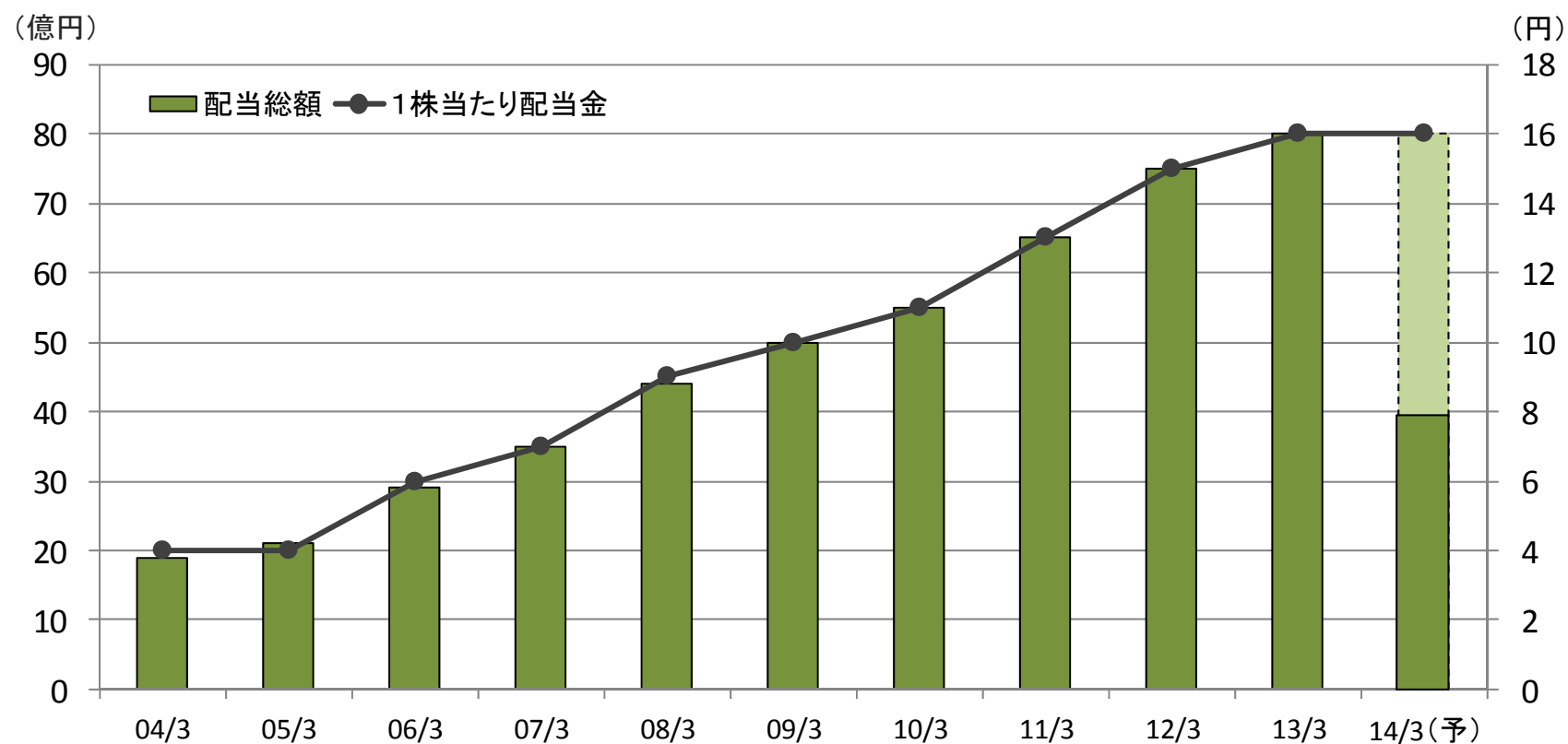
〔課題〕

- 生産性の向上・合理化の推進による損益改善
- 医薬用管ガラス・・・海外市場への積極展開

（中国、インド、ロシア、欧州など）

# 配当推移

利益配分の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長期的に安定した配当の継続</li> <li>● 内部留保(将来を見据えた研究開発、企業体質強化)</li> </ul>
2014年3月期	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中間・・・8円/株</li> <li>● 期末・・・8円/株(予定)</li> </ul>



(注) 各期を比較しやすいよう株式分割による影響を遡及して調整の上記載

# 次年度の主な取り組み

# 次年度の主な取り組み

- ディスプレイ関連
  - 海外展開
    - － 電気硝子(Korea)第2期、電気硝子(広州)
    - － 中国市場での事業拡大
  - 化学強化専用ガラス
    - － シェア拡大  
(採用機種拡大、エンドユーザーの開拓)
- ガラスファイバ
  - 売上目標・・・500億円／年
  - 損益・・・利益率の向上
  - 自動車・電子部品用及びセメント強化用の拡大  
(マレーシア・日本)

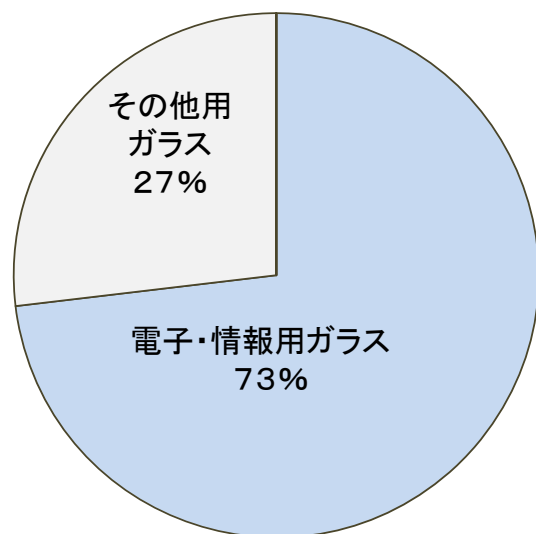
# 次年度の主な取り組み

- 光・電子デバイス
  - ・ 30種以上の開発案件、早期事業化
- 医薬用管ガラス
  - ・ 中国等の有望市場への拡販
  - ・ 生産・開発(次世代高度医療用管ガラス)
  - ・ 品証体制の強化
- フロート製品
  - ・ 太陽電池用基板の顧客開拓
  - ・ フロート技術の向上と新製品の開発

# (参考) 日本電気硝子の概要

社名	日本電気硝子株式会社
本社所在地	滋賀県大津市
創立年	1949年
資本金	321億円
事業内容	特殊ガラス製品およびガラス製造機械の製造・販売
事業場	大津、藤沢、滋賀高月、能登川、若狭上中、精密ガラス加工センター
連結子会社	22社

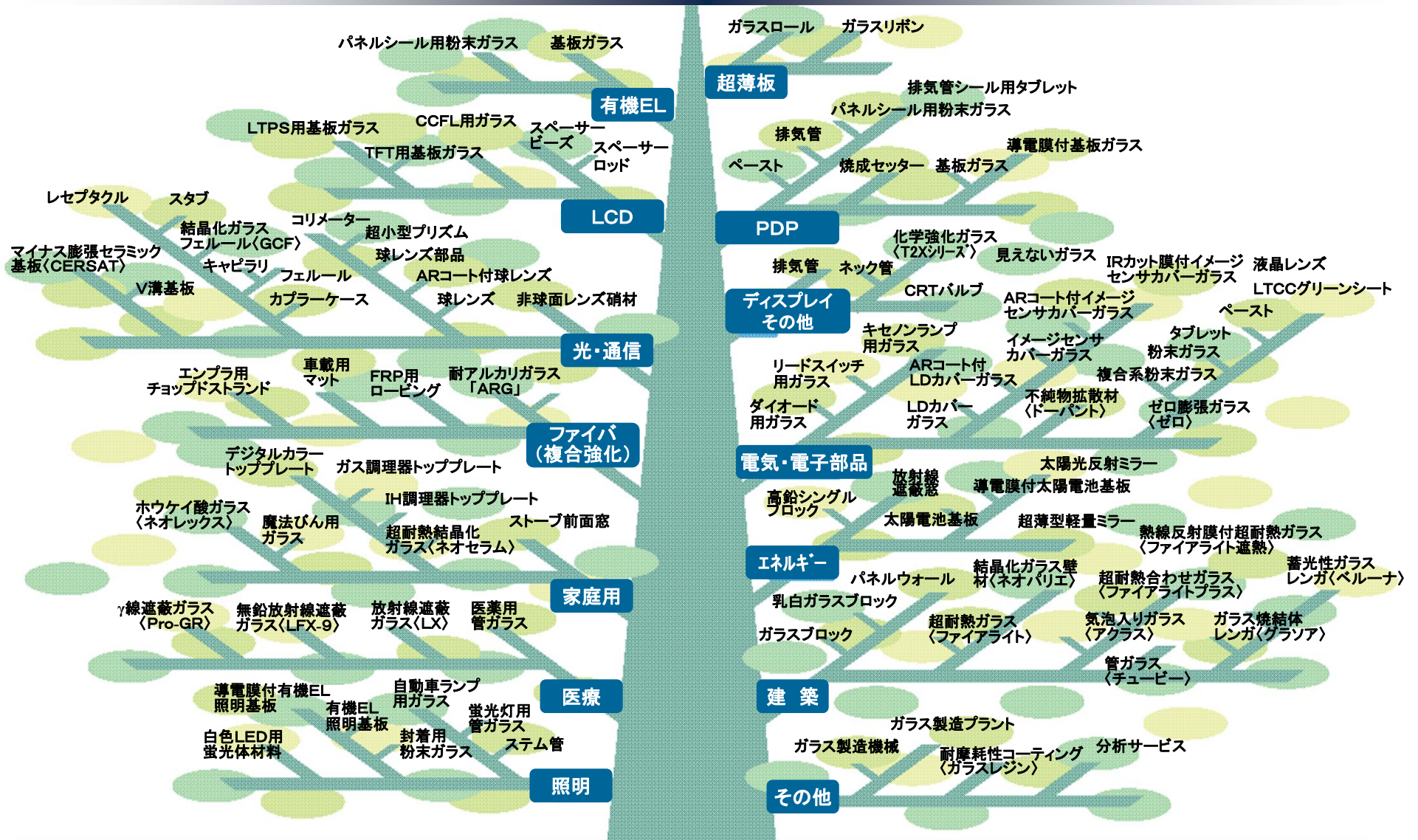
売上構成：14/3期2Q(累)



## 主要な事業内容

事業内容	製品	
電子・情報用ガラス	FPD用	液晶ディスプレイ用ガラス プラズマディスプレイ用ガラス
	ブラウン管用	ブラウン管用ガラス
	カバーガラス用	化学強化専用ガラス
	光関連	光通信デバイス用キャピラリー・フェルール
		光通信デバイス用レンズ部品
		非球面レンズ用硝材<マイクロプリフォーム>
	電子デバイス用	機能性粉末ガラス
イメージセンサ用板ガラス		
小型電子部品用管ガラス		
太陽電池用	太陽電池用ガラス	
その他用ガラス	ガラスファイバ	機能樹脂用チョップドストランド 強化プラスチック用ロービング 自動車用チョップドストランドマット 耐アルカリ性ガラスファイバ
	建築用	ガラスブロック
		結晶化ガラス建材<ネオパリエ>
		防火設備用ガラス<ファイアライト>
		放射線遮へい用ガラス<LXプレミアム>
	インテリア/エクステリア用ガラス	
	耐熱用	超耐熱結晶化ガラス<ネオセラム>
		耐熱ガラス<ネオレックス>
その他	照明用ガラス	
	医薬・理化学用ガラス	
	魔法びん用ガラス	
	ガラス製造機械	

# (参考) 未来へ向かう日本電気硝子の「ガラスの樹」





## 予想に関する留意事項

- ◆ 本資料に記載されている業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。
- ◆ 実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。